

昭和初期の香り漂う県庁舎別館。  
近代における山梨ゆかりの人物の  
功績などを紹介しています。



### 旧知事室

残された当時の家具類  
や写真などから、創建  
時の知事室の内装を  
復元しました。昭和  
初期の香りを感じ  
てください。



### 県政歴史展示室

昭和初期の知事応接室です。当時の雰  
囲気を感じられる空間としました。  
中央のモニターで県政の歴史などをご覧  
いただけます。



### 3階 正庁

県庁内の特別な行  
事を行う場所です。  
残された写真から  
当時の姿に復元し  
ました。  
年間10回程度講座  
等も開催します。



### 人物紹介室

テーマに沿って9人の  
人物を詳しく紹介しま  
す。中央では、近代化の  
象徴である中央線笹子  
トンネルの歴史を映像  
で紹介しています。

### ふるさと人物伝

子ども向けコンテンツ  
「ふるさと人物伝」  
キャラクターとなった人物の  
クイズを楽しみながら人生  
の転機などが学べます。



### 導入展示室

導入映像とともに50人の人物が皆さま  
をお迎えます。人物の功績や人物が残  
した言葉などをお伝えしています。



### 情報展示室

50人に関連するその他の人  
物や、人物ゆかりの地など、  
様々な情報を検索できます。

### 2階展示施設

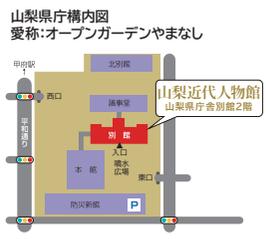
### Information

開館時間／午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)  
休館日／毎月第2・第4火曜日 12月29日~1月3日  
その他展示替え等により臨時に休館する場合があります  
入館料／無料

## 山梨近代人物館

The Museum of  
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号 山梨県庁舎別館2階  
TEL.055-231-0988 FAX.055-231-0991  
<http://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>



防災新館地下駐車場をご利用ください。(駐車無料)

第5回展示

平成29年4月1日(土)~9月27日(水)

県庁舎別館展示施設

# 山梨近代人物館

創建時の姿によみがえった県庁舎別館において、  
近代山梨の発展に貢献した人物や県政のあゆみについて紹介しています。



山梨近代人物館は、概ね明治時代から戦前までの間、農林業、政治・経済、国際交流、教育、芸術、学術など幅広い分野で活躍した人物の中から50人を選定し、この中から毎年2回ずつテーマに沿って9人の人物を紹介しています。

# 第5回展示「郷土のために尽くした人々」

明治時代の幕開けとともに訪れたわが国の社会や文化の大きな変化は、山梨にもさまざまな影響や課題をもたらした。山梨の人々は郷土に産業を興し、多くの人々へ教育を普及させ、新たな時代の変化に対応していった。彼らが残した郷土へのまなざしや人づくりの基礎は、現在の山梨にとってかけがえのない財産となっている。



おだぎり けんめい  
**小田切 謙明**

(甲府市 1846~1893)

甲斐国山梨郡西青沼村(現在の甲府市)に生まれ海洲と号した。名主・戸長を務め、明治9年に貸付会社補融社を設立。山梨県の代表的な民権運動家として活躍。温泉や製氷業などを経営し「海洲大権現」と奉られた。



のぐち えいふ  
**野口 英夫**

(徳島県 1856~1922)

山梨日日新聞の主筆に迎えられ、同紙の発展に尽力する。山梨県議会や甲府市政でも活躍し、「徳島県生まれの山梨県人」と称された。



こんどう よしのり  
**近藤 喜則**

(南部町 1832~1901)

「蒙軒塾(学舎)」を設立して近隣の子弟の教育に努めた。三樞(紙の原料)の増産のために殖産社を設立するなど、地域の発展に尽力した。山梨県議会の初代議長に就任した。



たなべ ゆうえい  
**田辺 有栄**

(甲州市 1845~1911)

山梨県を代表する自由民権活動家。明治5年の大小切税法の据え置きを請願文を起草したとされる。明治23年の第1回衆議院議員選挙に出馬し、山梨県最初の衆議院議員となる。



やまなか きょうこ  
**山中 共古**

(東京都 1850~1928)

江戸の旗本の子として生まれる。宗教家であり民俗学者。共古は筆名。甲府教会在任中の体験や見聞をもとに著した『甲斐の落葉』などの一連の著作は、山梨県の民俗学研究の基礎となっている。



つかはら ひとし  
**塚原 等**

(昭和町 1856~1922)

「甲府新聞」(現在の山梨日日新聞)に入社以来、数々の発行に携わる。私立山梨訓盲院の初代校長に就任。同院は、現在の県立盲学校・ろう学校の前身となっている。



なとり ちゅうあい  
**名取 忠愛**

(甲府市 1866~1948)

甲府山田町(現在の甲府市中央)に生まれる。甲府市長を2期務め、貴族院議員にも就任。甲府商業学校(現在の甲府商業高校)の設立や、『甲府略志』の編纂、武田神社の建立など教育文化の分野で業績を残した。



いとう うた  
**伊藤 うた**

(韮崎市 1868~1934)

女性が生活を成り立たせる技能を身につける教育機関の必要性を考え、山梨裁縫学校(現在の甲斐清和高等学校)を設立。山梨県における女子に対する実業教育や指導者育成に尽力した。



やまき くまん  
**八巻 九萬**

(北杜市 1852~1929)

明治14年から23年まで歴代最長在任の県会議長を務め、山梨県最初の衆議院議員になる。山梨共修社を設立し、山梨県の子弟の教育環境の向上に尽力した。